ネットストーカーについて

埼玉県教育委員会

SNSなどのインターネットサービスの普及にともない、ネットストーカーによる被害が増えています。ネットストーカーとは、インターネットを使って特定の人物にしつこくつきまとい、いやがらせをする人たちのことで、その被害はインターネット上だけにとどまらず、現実世界にまでおよんでしまうこともあります。

みなさんと同年代の学生たちがネットストーカーの被害にあってしまうケースもあり、その実態について正しく理解しておくことが大切です。

ネットストーカーの実態

ネットストーカーによる被害の例には、以下のようなものがあります。

- ・SNSやブログに好意を よせるコメントや交際 を迫るコメントなどが しつこく送られてくる
- ・匿名掲示板に誹謗中傷 の書き込みをされる
- ・ID・パスワードを特定 されてSNSなどのアカ ウントを乗っ取られ、 不適切な書き込みをさ れる









・個人情報を特定されて、 いろいろなサイトに掲 載される



こうした行為がエスカレートすると、(住所や通学路などを特定されて実際の ストーカー行為を受けることもあります。

ネットストーカーは、被害者の知り合いだけとはかぎりません。SNSの投稿をたまたま見かけた人や、インターネット上のサービスで知り合った人がネットストーカーになるケースもあります。

もし、ネットストーカーの被害にあったら

ネットストーカーに対してメッセージを送ると、行為がエスカレートするケースもあります。 そのため、しつこくメッセージが送られてきても**絶対に返信せずに、すぐに身近な大人たちに** 相談しましょう。

※警察等に相談することも考えて、ネットストーカーの書き込みをスクリーンショットで保存したり印刷したりするなどして、証拠として残しておきましょう。

インターネットを利用している人であれば、誰でもネットストーカーの被害にあう可能性があります。そのことを頭に入れて、自分や友だちの個人情報につながるものは、絶対にインターネットに投稿しないようにしましょう。